



東中だより

目指す学校像
キャッチフレーズ

生徒一人一人を大切にし 信頼される学校
蕨東の あいさつ一つで笑東へ

生徒数(名)
男子 194
女子 181
計 375

様々な交流機会を通じて

校長 阿部 仁

～エルドラド訪問団との交流～

蕨市とアメリカ・カリフォルニア州エルドラド郡が姉妹都市締結50周年を迎え、それを記念して、エルドラド郡から22名の訪問団が蕨市でホームステイをしました。11月4日(火)は、訪問団が本校を訪れ、授業参観や第2学年と交流会を行いました。体育館での交流会は、訪問団の方々が一人ずつ座っているブースに、2年生各学級の生徒が5～6人ずつのグループで対面し、「イチオシのご当地グルメ」「私の好きな日本食」などのトピックについて発表したり質問に答えたりするなどの活動を行いました。生徒たちは、事前に準備したタブレットの画像を提示したり、英語で説明したりと、一生懸命に取り組んでいました。訪問団の方々も、丁寧に説明を聞き、わかりやすい言葉遣いで質問したり、和やかな雰囲気での交流会が進んでいきました。



その後は、会議室に戻って、訪問団の方々が楽しみにしていた「給食」をいただきました。アメリカでは(地域的な違いはあるものの)、同じメニューを食べることや、生徒同士で助け合って配膳をしたりするのは見慣れない光景なので、非常に興味深い様子でした。また、食事が「温かい」まま提供されることにも驚いていました。



～市内合同音楽祭などでの合唱披露～

11月5日(水)は、3年生2クラスが東中を代表して、市内合同音楽会に出場しました。午前の部では、中学生の出場は本校だけ(一中の音楽部を除く)でしたが、小学生の元気な歌声に負けじと、中学生らしい響きと声量で、小学生たちを魅了していました。また、7日(金)には、関東地区音楽教育研究大会埼玉大会の研究演奏にも、3年3組の1クラスが出場し、「Chess board」などを元気一杯に披露しました。歌い終わって舞台から下がる時に、数名の女子生徒が涙していた姿が印象的でした。

～蕨市総合防災演習のWSS～

11月16日(日)の防災演習には、本校からWSS(warabi supporting students)に登録した生徒が参加しました。「土のう構築訓練」「負傷者運搬訓練」「スタンドパイプ操作訓練」の3つのグループに分かれて、消防隊員の指導のもと、訓練に参加していた蕨市民の方々とともに訓練に励んでいました。お互いに声を掛け合い、協力するなど、地域の方々との貴重な交流機会ともなっていました。

～交流等は生徒の成長の機会～

これまで紹介したいずれの交流機会では、日常には体験できない時間と感動を、生徒たちは味わうことになります。これが、生徒の成長の大切な機会となります。これからも、生徒に様々な交流の機会を提供していきたいと思います。

—了—